

## YUTTE 利用規約

TOA 株式会社（以下、「当社」といいます。）は、当社が提供するアナウンス音源作成サービス「YUTTE」（以下、「本サービス」といいます。）の利用について、以下のとおり規定します。

### 第 1 章 総則

#### 第 1 条（提供範囲）

1. 当社は、本サービスを、この利用規約（以下、「本規約」といいます。）に同意してユーザー登録をした事業者（法人または個人事業主をいい、一般消費者を除きます。ユーザー登録を行った事業者を「ユーザー」といいます。）に対して提供します。
2. 本サービスの提供範囲および本サービスを利用して作成したアナウンス音源の利用は、日本国内のみとします。

#### 第 2 条（本規約の追加・変更等）

1. 当社は、以下のいずれかに該当する場合、当社の裁量により、本規約の内容を追加・変更することができます。
  - (1) ユーザーの一般の利益に適合する場合
  - (2) 本規約の目的に反しておらず、かつ、変更に関する事情に照らして合理的なものである場合
2. 当社が本規約の内容を追加・変更等するときは、原則、当該変更等の効力が発生する 1 か月前までに、当社ウェブサイト上でお知らせします。ただし、軽微な修正、前項(1)に該当する場合、または早急に周知すべき追加・変更等が生じた場合はこの限りではありません。
3. 当社が、本サービスや本規約に関して個別の規定を定め、あるいはその内容を追加・変更する場合、それらは本規約の一部として扱います。

### 第 2 章 本サービス利用申込み、料金および支払い、退会など

#### 第 1 節 おためし利用

#### 第 3 条（おためし利用の方法）

1. 本サービスの利用を検討する事業者は、当社ウェブサイトからユーザーID、パスワード（以下、「アカウント」といいます。）を入力してユーザー登録をすることにより、本サービスを無料で利用することができます（以下、「おためし利用」といいます。）。
2. ユーザー登録には、当社が指定する方法による必要事項の提出が必要です。
3. おためし利用は、ユーザー登録の日から 30 日間利用できます。30 日間経過後も本サービスの利用を希望する場合は、次節以下の方法によりサービスプランの購入が必要です。

#### 第 2 節 サービスプラン（当社より直接購入する場合）

#### 第 4 条（サービスプラン利用の方法）

1. サービスプランに沿った本サービスの利用を希望するユーザーは、TOA ライセンスセンター（以下、「TLIC」といいます。）において、利用を希望するサービスプラン毎に、ライセンスキーの購入手続きを行う必要があります。具体的な購入方法は、TLIC 利用規約に従うものとします。各サービスプランの機能および内容は、当社ウェブサイトにて定めるとおりとします。
2. 当社は、前項の購入手続きを行ったユーザーについて、サービスプランに沿った本サービスの利用可否を判断し、その結果を通知します。当該ユーザーが以下の各号のいずれかに該当する場合、当社は前項の購入手続きを不承認とすることができるものとします。なお、当社は、当該ユーザーに対して、不承認とした理由を説明する義務を負いません。
  - (1) 当社に提供された登録情報（ユーザー登録時に入力されたもの、ライセンスキー購入の際に提供されたものおよび第 1 1 条により変更された情報を含みます。）の全部または一部につき虚偽、誤りまたは不備があった場合
  - (2) ユーザーが、本サービスに関して第 1 3 条（利用停止）に基づく措置を受けているまたは受けたことがある場合
  - (3) ユーザーが、第 3 1 条（反社会的勢力の排除）の規定に抵触する場合
  - (4) 一般消費者による購入手続きであることが判明した場合

- (5) ユーザーによる本サービスの利用が、当社に直接的または間接的に不利益を及ぼすものであると当社が判断した場合
  - (6) その他当社がユーザーによる本サービスの利用が適当でないと判断した場合
3. ユーザーに対して、購入手続きに係るサービスプランに沿った本サービスの利用を認める場合、当社はライセンスキーを発行します。ライセンスキー発行をもって、購入手続きに対する承諾とします。

#### 第5条（料金および支払い）

ライセンスキーの発行を受けたユーザーは、当社に対し、自己が選択したサービスプランに応じた料金を支払う必要があります。料金および支払方法は、別途、当社が定める方法によるものとします。

#### 第6条（ユーザーの退会）

1. ユーザーは、本サービス画面より、自らの意思で退会することができます。
2. ユーザーが退会したときは、当該ユーザーのライセンスキーが無効化されます。ライセンスキーの有効期間中の退会の場合であったとしても、すでに支払われた利用料の払い戻しはいたしません。  
なお、契約期間の自動更新のライセンスキーを購入された場合は、ユーザー自ら TLIC 上でライセンスキーの自動更新を解除いただく必要があります。
3. ユーザーが退会した場合、ユーザーが本サービス上で登録した会社情報、氏名、メールアドレス、およびユーザーが本サービス上で作成したアナウンス、アップロードしたファイル、登録したメンバー、読み方辞書などが削除されます。ただし、ユーザーの操作ログおよびエラーログは削除されません。
4. ユーザーの退会后、再度本サービスの利用を希望するユーザーは、改めてユーザー登録およびライセンスキーの購入手続きを行う必要があります。

### 第3節 サービスプラン（販売店経由で購入する場合）

#### 第7条（サービスプラン利用の方法）

1. サービスプランに沿った本サービスの利用を希望するユーザーは、本規約の内容に同意した上で、当社の販売店に対し、利用を希望するサービスプラン毎にライセンスキーの購入手続きを行う必要があります。
2. 前項のライセンスキーの購入手続きに係る諸条件は、ユーザーと販売店との間で合意した内容によるものとします。

#### 第8条（料金および支払い）

前条の購入手続きを行ったユーザーは、販売店との間で合意した条件に従い、本サービスの利用料金を販売店に支払うものとします。

#### 第9条（ユーザーの退会）

1. ユーザーは、本サービス画面より、自らの意思で退会することができます。
2. ユーザーが退会したときは、当該ユーザーのライセンスキーを無効化されます。ライセンスキーの有効期間中の退会の場合であっても、すでに支払われた利用料等については、販売店との間で合意した条件に従うものとします。なお、契約期間の自動更新のライセンスキーを購入されている場合は、販売店に対してライセンスキーの自動更新の解除を申し出ていただく必要があります。
3. ユーザーが本サービスを退会すると、第6条（ユーザーの退会）第3項および第4項に従って当該ユーザーの退会処理が行われます。

### 第4節 本サービスの利用

#### 第10条（本サービスの利用）

1. 本サービスの利用を希望するユーザーは、本サービスの利用にあたり、自己の費用と責任において、以下の条件を満たす必要があります。
  - (1) 本サービスの利用に必要な機器、コンピューター、ソフトウェア、通信回線その他の通信環境等の準備および維持
  - (2) 本サービスの利用に供する機器へのウィルス感染、不正アクセスおよび情報漏洩の防止等のセキュリティ対策
2. サービスプランに沿った本サービスの利用を希望するユーザーは、当社ウェブサイトにおいてユーザー登録の

のち、ライセンスキーを入力してアクティベーションを行うことにより、自己が選択したサービスプランに応じた本サービスの利用を開始することができます。

#### 第11条（登録情報の更新）

ユーザーは、登録情報を常に最新の内容に保つ必要があります。登録情報に変更があったときは、ユーザーは、当該変更からすみやかに、当社の定める方法により、登録情報を変更後の内容に更新するものとします。

#### 第12条（アカウントの管理）

1. ユーザーは、善良な管理者の注意をもってアカウントおよびライセンスキーを管理・保管するものとし、これらを第三者に対して貸与、譲渡、名義変更、担保設定等をしてはなりません。
2. 前項の規定にかかわらず、販売店経由で本サービスのライセンスキーを購入したユーザーは、本サービスの設定やアナウンス音源の作成を委託する目的で、当該販売店に対し、当該販売店との間で合意した条件に従ってアカウントを貸与することができます。
3. ユーザーは、アカウントおよびライセンスキーの紛失や不正使用を発見した場合、直ちにその旨を当社に通知し、以後は当社の指示に従うものとします。

#### 第13条（利用停止）

ユーザーが次の各号の一に該当することまたは該当するおそれがあることが判明した場合、当社は、事前に通知することなく、当該ユーザーによる本サービスの全部もしくは一部の利用を停止し、またはユーザーのアカウントの停止もしくは削除その他の当社が必要かつ適切と判断する措置を講じることができるものとします。

- (1) 本規約のいずれかの条項に違反した場合
- (2) 支払停止もしくは支払不能となり、または破産手続開始、民事再生手続開始、会社更生手続開始、特別清算開始もしくはこれらに類する手続の開始の申立てがあった場合
- (3) 当社からの問合せその他の回答を求める連絡に対して30日間以上応答がない場合
- (4) 第4条（サービスプラン利用の方法）第2項各号に該当する場合
- (5) 本規約に違反する利用その他不正利用が疑われる場合
- (6) その他前各号に類する事由があると当社が判断した場合

### 第3章 アナウンス音源

#### 第1節 アナウンス音源の作成

#### 第14条（アナウンス音源の作成）

1. ユーザーは、本サービス上で、アナウンス音源（単語、文章、またはこれらの組み合わせを、音声合成技術を用いて加工または複製した再生用音源（チャイム音やBGM等が一体となったものを含みます。）をいいます。）を作成することができます。ただし、以下の内容を含むアナウンス音源を作成することはできません。
  - (1) 他者を不当に差別もしくは誹謗中傷し、または、名誉・信用を毀損するおそれのあるもの
  - (2) 他者のプライバシーを侵害するおそれのあるもの
  - (3) 犯罪などの違法行為を助長し、または公序良俗に反するもの
  - (4) 他者の知的財産権（著作権、特許権、実用新案権、商標権、意匠権その他の知的財産権（それらの権利を取得し、またはそれらの権利につき登録等を出願する権利を含みます。）をいいます。）その他の権利・利益を害するおそれがあるもの
  - (5) 専ら宗教的または政治的な内容を発信しようとするもの
  - (6) その他、前各号に類するもの
2. 当社は、都合により、本サービス上で提供される話者を変更または削除することがあります。ただし、ユーザーが自身の機器に保存した音源は、話者を変更または削除後も、引き続き利用できます。

#### 第15条（自己の音源）

1. ユーザーは、アナウンス音源を作成するにあたり、自己が保有する楽曲や効果音等（以下、「自己の音源」といいます。）を、本サービス上にアップロードして利用することができます。
2. ユーザーは、本サービス上にアップロードする自己の音源について、以下の条件を満たしていることを表明し、保証します。
  - (1) あらかじめバックアップ等、必要な保存処理を行っていること。

- (2) 適法に利用できるよう必要な権利を取得していること。
3. 当社は、ユーザーが自己の音源を本サービス上にアップロードしたことによって当該音源に生じた破損、消失その他の不具合について、なんら責任を負いません。

#### 第16条 (BGM等)

1. ユーザーは、アナウンス音源を作成するにあたり、本サービス上で提供されるBGMやチャイム音（以下、「BGM音源」といいます。）を利用することができます。ただし、本サービス上でアナウンス音源を作成する目的以外でBGM音源を利用することはできません。
2. 当社は、都合により、本サービス上で提供されるBGM音源を変更または削除することがあります。ただし、ユーザーが自身の機器に保存した音源は、話者を変更または削除後も、引き続き利用できます。
3. ユーザーは、以下の方法でBGM音源を利用することはできません。
- (1) 次に掲げる利用を例とする、BGM音源の価値の利用を主目的とする態様での利用
- ① BGM音源をそのまま、または編集を施し、自らの楽曲・音源として公表すること（ここでいう「公表」とは、不特定または多数の者が閲覧・試聴・複製等が可能な状態をいいます。以下同じ。）
  - ② BGM音源のうち複数の音源（またはBGM音源のうちひとつと他のコンテンツ）をレイヤーし、自らの楽曲・音源として公表すること
- (2) 次に掲げる利用を例とする、BGM音源を第三者に利用させること。
- ① BGM音源を第三者に販売・無償提供・貸与等を行うこと、または第三者がBGM音源を複製可能な状態に置くこと
  - ② BGM音源を利用することができる権利を第三者に譲渡または再許諾すること
- (3) 機械学習の学習データとしての利用など、BGM音源を分析対象や研究の素材として利用すること
- (4) BGM音源に歌詞を付けるなどして歌唱する作品を作成しまたは公表すること
- (5) 次に掲げる利用を例とする、BGM音源の制作者の著作者人格権を侵害する方法での利用
- ① 差別の助長、自殺・自傷行為の助長等、公序良俗に反する目的でBGM音源を利用すること
  - ② 風俗産業、ポルノ、アダルトコンテンツその他これらに準じる媒体または目的でBGM音源を利用すること
  - ③ BGM音源の制作者の名誉または信用を毀損する態様でBGM音源を利用すること
  - ④ 違法、虚偽または中傷を内容とする宣伝または広告等のために本件音源を利用すること
  - ⑤ BGM音源を著しく改変して利用すること（音量調節、フェードイン・フェードアウト、ループ処理、カットその他の軽微な音質調整は除く）

#### 第17条 (おまかせ文章作成)

ユーザーは、本サービス上で、「おまかせ文章作成」を利用してアナウンス文章（単語、文章またはこれらの組み合わせであって、アナウンス音源の作成に用いられる文章をいいます。）を自動作成することができます。ただし、本サービス上でアナウンス音源を作成する目的以外で「おまかせ文章作成」を利用することはできません。また、「おまかせ文章作成」によって作成されたアナウンス文章の表現および内容の正確性、目的適合性、妥当性、効果について、当社は一切保証いたしません。

#### 第18条 (翻訳機能)

ユーザーは、複数の言語を利用可能なサービスプランを選択したときは、日本語で作成したアナウンス文章を、本サービスの翻訳機能を利用して、選択した言語に翻訳してアナウンス文章を作成することができます。ただし、当社は、翻訳内容および結果の正確性、目的適合性、妥当性について一切保証いたしません。

### 第2節 アナウンス音源の利用

#### 第19条 (アナウンス音源の取得・利用)

1. ユーザーは、前節に基づき作成したアナウンス音源を、本サービスからダウンロードして取得し、自己が使用、管理する再生機器およびサイネージ機器を用いて再生し、利用することができます。
2. ユーザーは、前項の目的に必要な範囲で、ダウンロードしたアナウンス音源の複製、改変を行うことができるものとします。
3. 前2項の行為（これらを当社および当社の協力会社または第三者へ委託して行う場合を含みます。）は、ユーザーが自己の費用と責任において行うものとします。

## 第20条（使用許諾）

1. ユーザーは、本サービス上で作成したアナウンス音源を、ユーザーの事業の目的のために利用できます。ただし、以下の各号に掲げる内容を目的として当該アナウンス音源を利用することはできません。
  - (1) TV やラジオ等で放送し、または、YouTube をはじめとする SNS や動画配信サイトへアップロードし、もしくはインターネット上で公開すること
  - (2) アナウンス音源を、ドキュメントや動画などのコンテンツに埋め込んで利用または、配布すること。ただし、自己のサイネージ機器で利用する目的でドキュメントに埋め込むことは、この限りではありません。なお、社内教育を目的としたドキュメントや動画等のコンテンツへの埋め込みを行う場合に限り、動画オプションを追加購入することで利用が可能です。
  - (3) 留守番電話機、電話自動応答システム(IVR)等に利用すること。ただし、留守番電話オプションを追加ご契約いただいた場合は、契約者の通信設備に限りご利用いただけます。
  - (4) 他者を不当に差別もしくは誹謗中傷し、または、名誉・信用を毀損すること
  - (5) 他者のプライバシーを侵害すること
  - (6) 犯罪などの違法行為を助長し、または公序良俗に反すること
  - (7) 他者の知的財産権その他の権利・利益を害すること
  - (8) 専ら宗教的または政治的な内容を発信すること
  - (9) その他、前各号に類する違法、不当な目的を含むもの
2. ユーザーは、自己が作成・ダウンロードしたアナウンス音源を譲渡（転売等を含む）や使用許諾などの方法により第三者に利用させることはできません。ただし、アナウンス音源の性質上、ユーザーが当該アナウンス音源を利用することにより不可避免的に当該ユーザー以外の第三者における一定の利用可能性が生じる場合はこの限りではありません。

## 第21条（アナウンス音源の返品等）

1. 本サービスにおけるアナウンス音源は現状有姿にて提供されるものとし、ユーザーは、当該アナウンス音源の内容や状態等について理解し、同意した上でダウンロードして取得するものとします。
2. ユーザーは、ダウンロードして取得したアナウンス音源について、デジタルデータの特性により返品が不可能であることを理解し、同意するものとします。

## 第22条（不保証）

1. 当社は、ユーザーが作成したアナウンス文章およびアナウンス音源について、ユーザーの権利・利益等を一切保証するものではありません。また、ユーザーは、ユーザーが作成したアナウンス文章およびアナウンス音源を自ら利用管理、監修するものとし、当社は本規約に定める内容を除き、関与しません。
2. アナウンス音源は、音声合成（コンピューター生成音声）を使用して、文字を読み上げるものです。当社は、すべての単語が正しく発音されることを保証しません。
3. 当社は、ユーザーが本サービスにアップロードした自己の音源の管理や保管について、一切責任を負いません。

## 第4章 一般条項

### 第23条（本サービスの変更、中断、中止、追加および廃止等）

1. 当社は、ユーザーに事前の通知をすることなく、本サービスの内容の全部または一部を変更、追加し、または一部を廃止することができるものとします。本サービスの全部を廃止する場合は、その効力を生じる1年前に当社ウェブサイトを通じてユーザーに通知します。
2. 当社は、以下の各号の事由が生じた場合または当社の裁量により、本サービスの全部または一部の提供を中止することができます。中止する場合は、緊急の場合を除き、当社ウェブサイトを通じてユーザーに通知します。
  - (1) 本サービス用のソフトウェア、通信機器設備等に関わるメンテナンスや修理を定期的または緊急に行う場合
  - (2) 電気通信事業者の役務が提供されない場合
  - (3) 本サービスの利用料の請求・支払いのために利用する決済サービスその他関連サービスの中断、停止、提供拒否等があった場合
  - (4) 天変地変、戦争、紛争、動乱、暴動、疫病等の不可抗力や火災、停電、その他の不慮の事故により本サービスの提供が困難な場合
  - (5) その他前各号に準じ当社が必要と判断した場合

## 第24条（権利の帰属）

1. 本サービスに関する一切の知的財産権は、当社または当社にライセンスを許諾している者に帰属します。
2. ユーザーは、いかなる理由によっても当社および当社にライセンスを許諾している者の知的財産権を不当に侵害するおそれのある行為（逆アSEMBル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングを含むが、これに限定されません。）をしてはなりません。
3. 本サービスの利用は、本サービス上に表示される商標、ロゴおよびサービスマーク等（以下、総称して「商標等」といいます。）を、ユーザーその他の第三者に対し譲渡、または使用許諾するものではありません。
4. 本規約に定めるものを除き、当社は、本サービスに関するいかなる権利も、ユーザーその他の第三者に対して許諾するものではありません。

## 第25条（登録情報等の取扱い）

1. ユーザーは、当社に対し、次の各号に同意するものとします。
  - (1) ユーザーの登録情報を当社プライバシーポリシー (<https://www.toa.co.jp/privacy.htm>) に従って取り扱うこと。
  - (2) サービスの品質向上等のため、ユーザーによるサービスの利用状況（アクセス履歴、操作ログ、エラーログ、利用頻度、アナウンス文章、アナウンス音源等）に関する情報を取得し、利用すること。
  - (3) 本サービスの利用状況を当社サイトご利用上の注意 (<https://www.toa.co.jp/sitepolicy.htm>) に従って取り扱うこと。
  - (4) 当社が、法令に基づく正式な手続きによりユーザーに係る情報開示の命令または要請を受けた場合、ユーザーの同意を得ることなく、当該命令または要請の範囲内でユーザー情報を開示すること。
2. 当社は、前項(1)を行うにあたり、第三者に委託することがあります。この場合、当社と委託先との間で当該情報等についての取扱いを定めて管理を行うものとします。
3. ユーザーは、当社に対して、第1項(2)に定めるサービスの利用状況に関する情報のうち、アナウンス文章を対象として、当社が取得し、利用することについての除外を申し出ることができます。

## 第26条（秘密保持）

1. ユーザーは、本規約または本サービスに関連して知り得た当社の情報であって、秘密情報と明記されたもの（媒体を問いません）を秘密として保持しなければなりません。但し、以下の各号に該当するものは、秘密情報に該当しないものとします。
  - (1) 当社から開示されたときに、すでに一般に知られていたもの
  - (2) 当社から開示されたときに、すでにユーザーが保有していたもの
  - (3) 当社から開示された後に、ユーザーの責任によらずに一般に知られたもの
  - (4) 正当な権限のある第三者から秘密保持義務を負うことなく適法に取得したもの
  - (5) 秘密情報によることなくユーザーが自ら開発したもの
2. ユーザーは、当社の秘密情報を本サービス利用の目的のみに利用するとともに、当社の書面による事前の承諾なく第三者に提供、開示または漏洩してはいけません。
3. 前項の定めにかかわらず、ユーザーは、法律、裁判所または政府機関の命令または要請に基づき秘密情報を開示することができます。ただし、当該命令または要請があった場合、速やかにその旨を当社に通知しなければなりません。
4. ユーザーは、当社から求められた場合または本サービスを退会した場合、遅滞なく、秘密情報ならびに秘密情報を記載または包含した書面その他の記録媒体およびその全ての複製物を当社に返却または廃棄しなければなりません。

## 第27条（輸出管理）

1. ユーザーは、本サービス、本サービス上で作成したアナウンス音源または本サービスを通じて取得した情報を、本サービスの利用期間中または利用期間終了後に関わらず、日本国および諸外国における輸出管理関連法規および技術情報の取扱いに関する法令に基づき利用しなければなりません。
2. ユーザーが前項の定め違反したことにより被った損害、処分その他一切の不利益に対し、当社はなんら責任を負いません。

## 第28条（禁止行為）

1. ユーザーは、本サービスの利用にあたり、以下の各号のいずれかに該当する行為をしてはなりません。
  - (1) 本規約に違反し、または他のユーザーに対して本規約違反を助長する行為

- (2) 法令に違反し、または第三者に対して法令違反を助長する行為
  - (3) 迷惑行為および公序良俗に反する行為
  - (4) 当社または他のユーザーその他第三者の知的財産権その他の権利または利益を侵害する行為
  - (5) 本サービスに含まれるソフトウェアに対する逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングその他の解析行為
  - (6) 前各号に該当するおそれのある行為
  - (7) 前各号のほか、当社が不適切と判断する行為
2. ユーザーが前項各号の禁止行為を発見したときは、すみやかに当社へ通報するものとします。

#### 第29条（損害賠償）

1. ユーザーは、本規約に違反し、または本サービスの利用に関連して当社に損害を与えた場合、当該損害（間接損害を含む）を賠償しなければなりません。
2. 本サービスに関し、当社の責めに帰すべき事由によってユーザーが損害を被ったときは、ユーザーは当該損害について当社に賠償を求めることができます。ただし、この場合の当社の賠償責任は、予見可能性の有無を問わず特別の事情から生じた損害および逸失利益を含まず、また、当該ユーザーの1年あたりの本サービスの利用料を上限とします。

#### 第30条（本サービスの提供終了）

1. ユーザーが第28条（禁止行為）第1項各号に違反したときは、当社はなんらの催告を要することなく、当該ユーザーに対する本サービスの提供を終了することができます。
2. ユーザーが第13条（利用停止）各号に違反し、当社が相当期間を定めて催告をしたにも関わらず、違反状態が是正されないときは、当社は当該ユーザーに対する本サービスの提供を終了することができます。
3. 前2項の解除によって当社が損害を被ったときは、当社は、当該損害についてユーザーに賠償を求めることができます。

#### 第31条（反社会的勢力の排除）

1. ユーザーは、次の各号の事項を確約するものとします。
  - (1) 自らが暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者またはその構成員ならびにこれらでなくなったときから5年を経過しない者（以下、総称して「反社会的勢力」といいます。）ではないこと。
  - (2) 自らの役員（取締役、執行役、業務を執行する社員またはこれらに準ずる者をいいます。）が反社会的勢力ではないこと。
  - (3) 反社会的勢力に自己の名義を利用させ、本サービスを承認させるものではないこと。
  - (4) 本サービスの有効期間内に自らまたは第三者を利用して、次の行為をしないこと。
    - ① 脅迫的な言動または暴力を用いる行為
    - ② 偽計または威力を用いて当社の業務を妨害し、または信用を毀損する行為
2. 本サービスの有効期間内に、ユーザーが前項各号の一に違反する事由が生じた場合には、当社は何らの催告なくして、ただちに当該ユーザーに対する本サービスの提供を終了することができます。なお、解除されたユーザーは、解除により生じる損害について、当社に対し、一切の請求を行わないものとします。

#### 第32条（保証の否認および免責）

1. 当社は、本サービスがユーザーの特定の目的に適合すること、期待する機能・価値・正確性・有用性を有すること、ユーザーに適用される法令または業界団体の内部規則等に適合すること、および不具合が生じないことについて、何ら保証するものではありません。
2. 当社は、以下の各号によってユーザーが被った損害につき、賠償する責任を一切負わないものとします。
  - (1) ユーザーが本規約の定め違反したこと
  - (2) 本規約の第13条（利用停止）または第23条（本サービスの変更、中断、中止、追加および廃止等）に該当したこと
  - (3) 本サービスにアップロードした自己の音源または情報の消失
  - (4) 本サービスにアップロードした自己の音源およびこれを用いたアナウンス音源に関して第三者との間で生じた紛争
  - (5) ユーザーが本サービスの利用に供する機器の故障または損傷
  - (6) アナウンス音源をダウンロードしたことに伴うユーザーの機器の故障または損傷ならびにユーザーの保有するデータ等の損傷または消失

(7) その他本サービスに関して当社の責めに帰すべき事由によらずにユーザーが被った損害

3. 本サービスに関してユーザー間で紛争や問題が生じた場合、当該ユーザーの責任と費用でこれを解決するものとし、当社はこれに一切関与しません。ユーザーと第三者との間で紛争が生じた場合も同様とします。

### 第33条（本章の適用範囲）

本章の規定はユーザーと販売店の間で締結された契約、注文、その他の合意内容（以下、単に「合意内容」といいます）に準用します。ユーザーと販売店の間の合意内容が本章の各規定と抵触する場合は、当社にとってより有利な条件が優先して適用されるものとします。

## 第5章 雑則

### 第34条（連絡・通知）

1. 本サービスに関する問い合わせその他ユーザーから当社に対する連絡または通知、および本規約の変更に関する通知その他当社からユーザーに対する連絡または通知は、当社の定める方法で行うものとします。
2. 当社は、ユーザーが登録したメールアドレスに、当社の製品、サービス等に関する広告・宣伝等のメールを配信することがあります。

### 第35条（本規約上の地位の譲渡等）

1. ユーザーは、当社の書面による事前の承諾なく、本規約に基づく権利義務の全部または一部を、第三者に譲渡し、または担保の目的に供することはできません。
2. 当社が本サービスにかかる事業を他者に譲渡した場合には、当該事業譲渡に伴い、本規約に基づく権利および義務ならびにユーザーの登録情報その他の情報を当該事業譲渡の譲受人に譲渡できるものとし、ユーザーは、かかる譲渡について予め同意したものとみなします。また、本項にいう事業譲渡には、当社が消滅会社または分割会社となる合併または会社分割等による包括承継を含みます。

### 第36条（分離可能性）

本規約のいずれかの条項またはその一部が、各種法令等により無効と判断された場合であっても、当該判断に係る条項以外の規定は、継続して完全に効力を有し、当社およびユーザーは、当該無効とされた条項または部分を適法とし、効力を持たせるために必要な範囲で修正し、法律的小および経済的に同等の効果を確保できるように努めるものとします。

### 第37条（存続規定）

第20条（使用許諾）、第4章（一般条項）および第35条（本規約上の地位の譲渡等）から第38条（準拠法および合意管轄）の規定はサービス利用期間の終了後も有効に存続するものとします。

### 第38条（準拠法および合意管轄）

本規約の準拠法は日本法とし、本規約に起因しまたは関連する一切の紛争については、神戸地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

### 第39条（協議解決）

当社およびユーザーは、本規約に定めのない事項または本規約の解釈に疑義が生じた場合には、互いに信義誠実の原則に従って協議の上速やかに解決を図るものとします。

以上

2025年6月16日 制定

2025年10月29日 改定